

有明海・八代海等の環境等変化（河川）

1. 河川

有明海・八代海に流入する河川は各々112河川、47河川あり（図1、2）、有明海では筑後川、八代海では球磨川の影響が大きい。

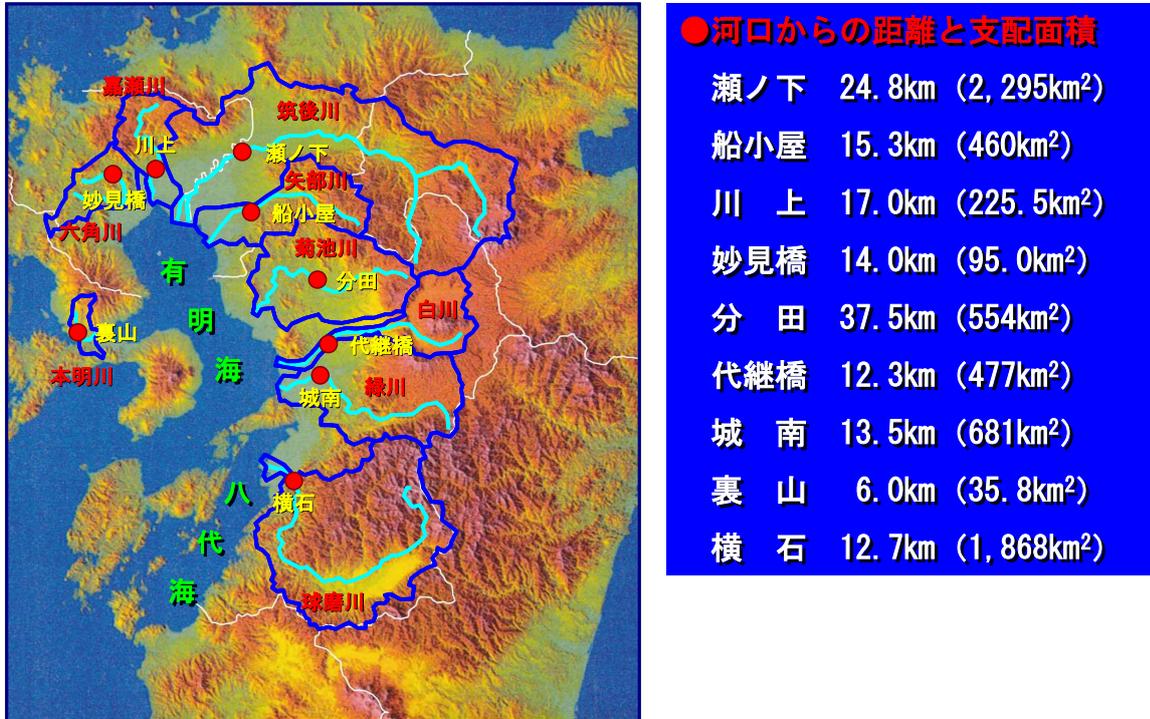
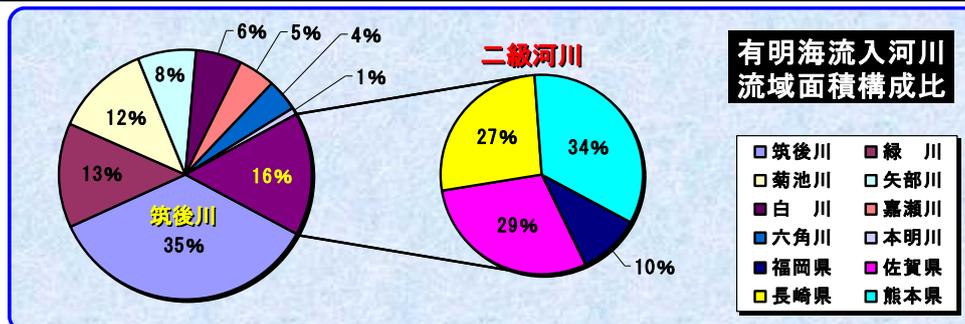


図1 有明海、八代海の流域図

出典：福岡捷二（2005）「第13回有明海・八代海総合調査評価委員会 資料-3 有明海・八代海における河川の影響について」

種 別	名 称 等	流域面積 (km ²)	種 別	名 称 等	流域面積 (km ²)		
一 級 河 川	有明海流入 8河川	筑 後 川	2,860	二 級 河 川	有明海流入 104河川	福 岡 県(4河川) 佐 賀 県(28河川) 長 崎 県(48河川) 熊 本 県(24河川)	1,303.91
		緑 川	1,100				
		菊 池 川	996				
		矢 部 川	620				
		白 川	480	八代海流入 46河川	熊 本 県(42河川) 鹿 児 島 県(4河川)	1,091.08	
		嘉 瀬 川	368				
		六 角 川	341	有 明 海	112河川	8,155.91	
		本 明 川	87	八 代 海	47河川	2,971.08	
	八代海流入	球 磨 川	1,880	合 計	159河川	11,126.99	

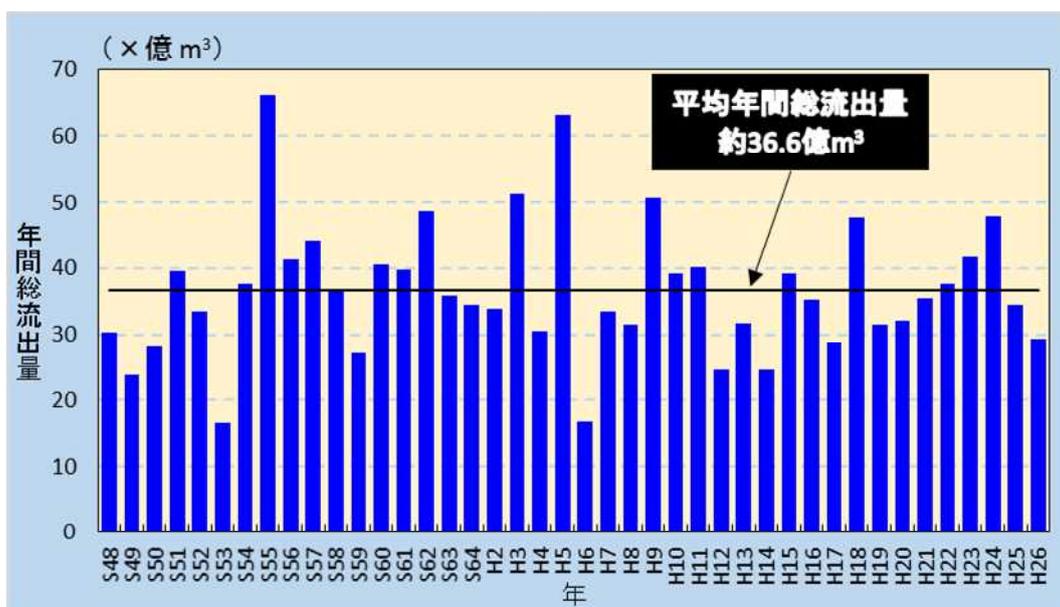


出典：福岡捷二（2005）「第13回有明海・八代海総合調査評価委員会 資料-3 有明海・八代海における河川の影響について」

図2 有明海、八代海の流入河川の流域面積等

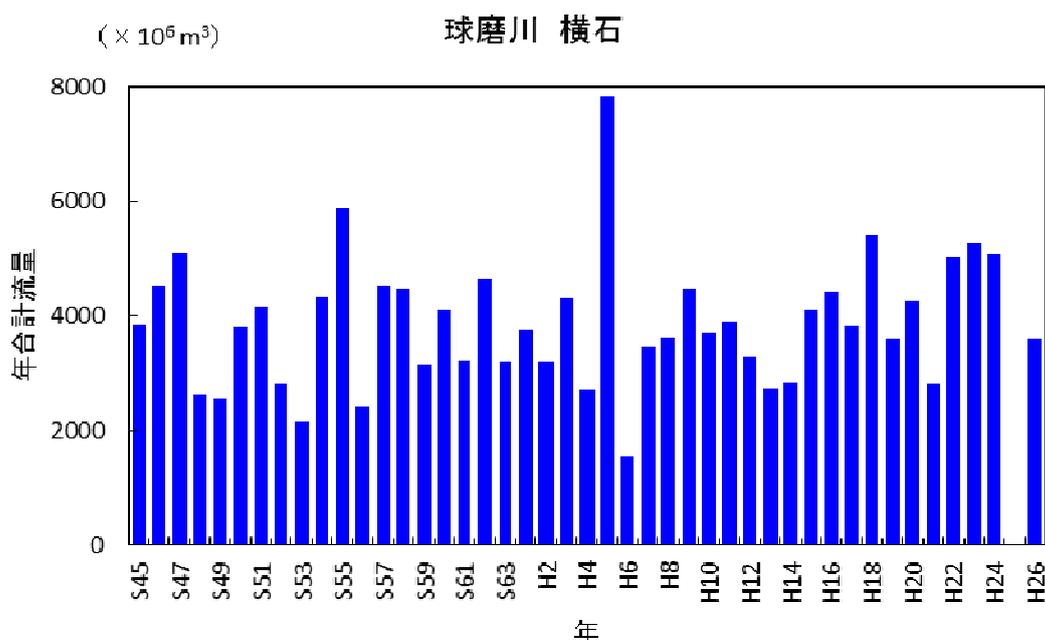
(1) 筑後川

筑後川の概要は、流域面積 2,860km²、平均年間総流出量 36.6 億m³、低水流量約 47m³/s、幹川流路延長 143km、流域内人口約 109 万人（平成 7 年度末）である。筑後大堰は、固定堰の撤去と河道掘削により洪水流下能力を 6,000m³/s から 9,000 m³/s に増大させるとともに、新規利水として 0.35m³/s を開発。可動堰により洪水時は流下を阻害せず、平常時は塩水の流入を阻止して安定した取水を可能とした。流域外への導水量（水道用水）年間 7,000～9,000m³ は、年間総流出量に比して少なく、取水された農業用水（域内導水）も有明海に戻る。筑後大堰の全開回数は年平均 3.8 回（流入量 1,000m³/s 以上の洪水時に全開）であり、これにより堰上流の堆砂を解消している。

図3 筑後川の年間総流出量の経年変化¹⁾

(2) 球磨川

八代海に流入する47河川のうち、球磨川は唯一の1級河川であって、流域面積1,880km² (全体の61%)、年間総流出量39億m³である。八代海周辺の年間降水量は、天草から八代海にかけて少ないが、球磨川流域を中心とする山間部では大きい。球磨川の年間総流量の経年的な変化傾向は認められない(図4)。

図4 球磨川の年間総流量の推移¹⁾